

## 栄冠掛けて熱戦 熊日旗ソフトボール大会

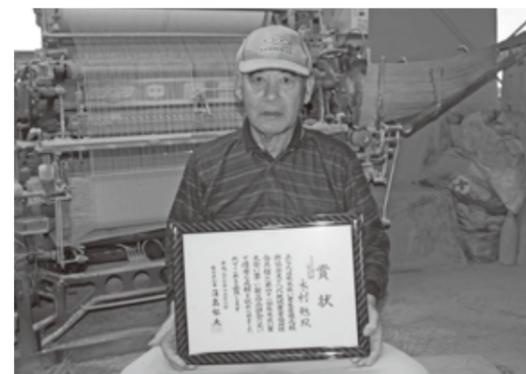
9月30日から10月19日にかけて、桜ヶ丘グラウンドにおいて、第10回氷川町熊日旗ナイターソフトボール大会が開催され、10チームが熊日旗を懸けて、熱戦を繰り広げました。  
決勝は2パートの予選リーグで1位となった北竜と竜北クラブの対戦。共に激戦を勝ち抜いたチーム同士の対決で随所に好プレーが見られ、初回から息詰まる攻防が繰り広げられました。北竜が3回に光永有佑選手（北鹿野）のホームランで先制すると、粘る竜北クラブを4対0で退け、4年ぶり4度目の優勝を飾りました。



▲4年ぶり優勝！北竜の皆さん

## 氷川ブランドの技術を証明 町内イ草生産者が品評会で受賞

10月16日、八代ホワイトパレスで開催された第41回熊本県農業大会の「い草・い製品品評会」において、213点の出品作の中から、木村勉さん（反甫）が熊本県知事賞、前橋勝さん（新田）が全い連会長賞を受賞された他、町内のイ草生産者の皆さんが各賞を受賞されました。  
安価な中国産イ草が国内シェアの8割を占めるという、厳しい状況が続く中、良質な畳表を生産するため、生産者の皆さんが日々努力された結果が入賞につながったものです。  
今後も町産畳表を使用し、日本の文化の象徴である「畳のある生活」を守っていきましょう。



▲受賞された木村勉さん

### い草・い製品品評会受賞者（敬称略）

【い製品の部（三種）】			【い製品の部（一種）】			【い草の部】		
入賞	氏名	地区	入賞	氏名	地区	入賞	氏名	地区
優等※	木村 勉	反甫	1等※	前橋 勝	新田	2等	田中 浩伸	有佐
2等	上本 修久	西網道	1等	松本 吉弘	新田	3等	林田 雄二	下宮
2等	松田 州平	北野津	2等	廣田 龍平	北鹿野			
3等	藤井 研吾	上鹿島	2等	木村 浩徳	反甫			
3等	村上 恵	法道寺	3等	澤田 和彦	北鹿野			
			3等	井戸 浩徳	上鹿島			

※特別賞：熊本県知事賞  
※特別賞：全い連会長賞

## 感謝の心込めて奉仕活動 シルバー会員が奉仕活動

10月17日、町内の小学校において、氷川町シルバー人材センター会員による奉仕活動が行われ、73人の参加がありました。  
シルバー事業は、社会参加により生きがいの充実を支援することを目的としており、この奉仕活動は、例年10月第3土曜日を「シルバーの日」と定め、全国的な普及啓発活動を行うこととシルバー事業を周知することを目的としています。  
会員たちは早朝から3班に分かれ、各小学校の草刈りや周辺道路のごみなどを収集。作業終了後はグラウンドゴルフで汗を流し、会員同士の交流を深めました。



▲草刈りに汗を流す会員の皆さん

## 氷川産スイーツで地域活性化 氷川町商工会の地域づくりを表彰

10月27日、熊本県南広域本部において、地域づくり夢チャレンジ推進事業表彰式が行われ、氷川町商工会が「熊本県南広域本部長賞」を受賞しました。

この事業は、地域の活性化や地方創生を目的として、市町村や地域住民が行う自発的な地域づくりを対象に、熊本県が行う補助事業です。

氷川町商工会は「氷川のおみやスイツde『地域の宝』再発見プロジェクト」として、女性会員が中心となり、町特産のもち米やレンコンなどを使ってお菓子を開発。お土産として、町の知名度向上に取り組みられています。



▲表彰状を受け取る下山清信商工会長

## ホタル舞う自然を後世へ 島地ホタル護ろう会の活動を表彰

10月27日、肥後銀行本店において、第29回肥後の水とみどりの愛護賞表彰式が行われ、「島地ホタル護ろう会」が同賞を受賞しました。

これは水資源のかん養や保全、緑化推進などに2年以上取り組み団体や個人を表彰するもので、ホタルが飛び交う自然環境を子どもたちに伝える、同会の20年以上にわたる活動が評価されたものです。

会役員の土亀克己さんと野田松男さんは「地区の皆さんが協力し合い、大きな花が咲いたようだ」「ホタルが育つ様子を見ると、子どもの時に戻った気持ちになる。今後も一生懸命取り組んでいく」と話されました。



▲左から野田松男さん、土亀克己さん、吉見誠会長

## ひかわっ子ランナー健闘を 中学校伝競争大会出場選手激励会

11月1日、役場庁議室において、第60回熊本県中学校伝競争大会の男子の部に出場する、竜北中学校の選手に対する激励会が行われました。

激励会では、藤本町長が「練習の成果を発揮し、素晴らしい結果となるよう頑張ってください。家族や先生、生徒が応援していることを忘れないでほしい」とあいさつ。出場選手は一人一人抱負を述べ、健闘を誓いました。



▲健闘を誓った出場選手の皆さん

## 自分だけの小さな庭づくり 担い手女性グループ寄せ植え研修

11月6日、氷川町屋内ゲートボール場駐車場において、氷川町担い手女性グループによる寄せ植え研修が行われました。

寄せ植えは、いろいろな種類の植物を同じ鉢やプランターに植える園芸手法の一つです。

会員たちは、講師の指導を受けながら、それぞれの鉢にパンジーやアリッサム、ナデシコなどの花を思い思いに植えました。

また、この日は花いっぱい運動の二環で、会員の手により20個のプランターにも花が植えられ、町内の施設に配布されました。



▲いっぱいの花に囲まれて